

新年の抱負 「早くねる」

文化芸大生 書道教室

浜松市中区の静岡文化芸術大の書道サークルによる書き初め教室が23日、中区の西部協働センターで開かれた。地元の小学3～6年生20人が書の楽しさを学び、「トマト克服」など新年の抱負を書き上げた。

児童たちは、まず学校の冬休みの宿題に取り組み「ふじの山」「夢と希望」などと書いた。書道サークル「書法倶楽部 彩筆会」の大学生7人は、筆の使い方や文字のバランスを教え、「めちゃくちゃ上手」「次は書けるよ。頑張れ」などと優しく助言した。

児童たちは新年の抱負を書いてそれぞれ発表した。「早くねる」



のを目指す追分小4年の河井紀璃君(10)は「お母さんに8時に寝なさいと言われるけど、テレビを見ていたら9時半になってしまう」と反省。「優しく教えてもらって楽しかった。しっかり抱負も守りたい」と話した。

市と市内の大学による連携事業の一環。定員20人に対し60人が応募する人気ぶりだった。

(戸田稔理)

静岡文化芸術大の学生を中心に教わりながら、書き初めの練習に励む児童たち
浜松市中区の西部協働センターで